

終わりのなき育児に希望を ～ケア必要な子を育て、働き続けるには～

2025年4月から、改正育児・介護休業法が施行されました。看護等休暇や短時間勤務などの両立支援は拡充されていきます。
しかし、定型発達を前提とする今の法律のもとでは、障がい児や療養を必要とする子を育てる親が働き続けることは簡単ではありません。
何が必要でしょうか。この問題について長年活動をされてきた工藤さほ氏のお話から、一緒に考えてみましょう。

開催日 2025 年 6 月 20 日 (金) 16:20～17:30

会場 甲南大学 岡本キャンパス 8号館2階 823 教室



講師 **工藤 さほ 氏**

一般社団法人 障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会 会長

1972年12月生まれ。上智大学文学部英文科卒。1995年朝日新聞社に入社。前橋、福島支局をへて、東京本社や名古屋本社の学芸部、東京本社文化部で家庭面やファッション面を担当。2012年育休明けからお客様オフィス、2019年から編集局フォトアーカイブ編集部。こども家庭審議会委員、同審議会成育医療等分科会委員。東京都出身。講談社ウェブマガジン「mi-mollet (ミモレ)」で連載中。

イントロデューサー

甲南大学 経営学部 教授
ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員

奥野 明子

お問い合わせ・お申込み

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所
bi@adm.konan-u.ac.jp